

# 引き続き、息の長い支援にご協力ください

木田 保男

全国学童保育連絡協議会 会長

## 被災した地域の現状と課題

東日本大震災から一年がたちました。被災した地域では、厳しい状況がまだまだ続いています。なかなかすすまない復旧・復興、将来に対する不安、身体的にも精神的にもさまざまな困難の中で生活が続いています。

被災した地域では、五〇数か所以上の学童保育施設が使えなくなりました。現在は、別の場所の間借りしたり、合同保育などで、その大半が再開していません。長らく開設場所が確保できずに

## 子ども・保護者・指導員を支える

ある自治体からは、「子どもたちも職員も精神的にとても不安定になっていく。学童保育に対するメンタル面でのフォローは皆無に等しい。急務の課題です」とのお話がありました。

また、子どもの心のケアを専門に行っているある医師は、「一年経ってからが大変だ。震災前と比べると、子どもたちは傷つきやすくなっている。生命を脅かされた体験をしているのだから当然。向き合って一緒に考えていくしかない」と話されていました。

こうした現状にともない、「毎日、子どもと向き合い、共に考えていく」という仕事を担う指導員、学童保育の役割がますます重要になっています。「子どもと毎日接する指導員が一日も早く回復して、おちついて学童保育の仕事ができるようになることが、子どもたちの安定につながる大きな力にな

いた宮城県女川町（一時期は、被害が少なかった小学校に、役場と二つの小学校が間借りしていました）では、二〇一一年一二月から、小学校の廊下で再開することができました。また、宮城県南三陸町では、二〇一一年一〇月から二か所の学童保育を再開することができました。

しかし、地域全体の復興計画の策定が進まず、小学校の再建地や統廃合の予定なども未定のため、学童保育施設の本格的な整備には着手できないなどの現状があり、その多くが十分な環境

る」との声もあり、懇談や研修などを通じて指導員への支援は、これからも重要な課題となっています。

全国学童保育連絡協議会ではこれまで、全国各地の学童保育関係者の皆さんから寄せられた「東日本大震災学童保育義援金」をもとに、被災した地域の行政や学童保育関係者と相談しつつ、つぎのような支援に取り組んできました。

- ①学童保育施設の再建への支援
- ②学童保育に必要な備品等への支援
- ③運営費への支援（指導員の給与支払いへの援助など）
- ④研修・相談活動など指導員への支援
- ⑤放射線被害から子どもたちを守るために必要な方策への支援
- ⑥学童保育の復旧・復興・発展を進める体制づくりのため、被災した地域の学童保育連絡協議会に対する支援。

なお、これらは、連絡協議会の会員

のもとにはありませんし、今後の見通しが立っていないところも少なくありません。

現在、被災した地域では学童保育への入所希望が増えているそうです。新年度の入所希望が増え、条例改正をして定員を増やす自治体もあります。また、高学年の入所希望も増えており、条例を改正して受け入れを検討しているところもあります。

さらには、学童保育が以前から抱えていた問題・課題（学童保育に対する行政や周囲の理解の不十分さ、指導員の働く条件や、必要な家庭が利用できるようにするための条件整備の遅れ、予算の少なさなど）が、大震災によって表出している地域もあります。

被災した地域の学童保育の復旧・復興のためにも、国の学童保育に対する制度の抜本的な拡充が必要です。全国学童保育連絡協議会では引き続き、国への働きかけを強く行っていきます。

の有無、学童保育の運営形態にかかわらず、公的な支援がとどかないところへの援助も含め、取り組まれています（くわしくは、本誌の二〇一一年六月号～二〇一二年三月号をご参照ください）。また、全国学童保育連絡協議会のホームページでも、具体的な支援の内容を報告しています。

これからも、「安全で安心して生活できる学童保育」をつくっていくための支援が必要です。引き続き、学童保育関係者の皆様のご協力をお願いします。

### 「東日本大震災学童保育義援金」

の振込先は下記のとおりです。

- ・銀行コード：0005
  - ・店番：351
  - ・三菱東京UFJ銀行
  - ・本郷支店
  - ・普通預金 0012273
  - ・名義 全国学童保育連絡協議会
- 代表 木田保男